



全国15カ所に広がる森林保全活動 森の再生と生物多様性保全の取り組みを推進します

富士通グループは、豊かな自然を守り、失われた自然環境を再生することを目的に、森林保全活動を行っています。全国15カ所で森の再生に努める等、生物多様性保全にもつながる取り組みは、グループ社員らの手により着実に広がっています。

企業の森を自然環境の再生と環境教育の場に

富士通グループでは、各事業所が主体となり、全国15カ所で森林保全活動を展開中です。そのうち11カ所では、自治体が推進する「企業の森」事業に参画し、「富士通グループの森」として森林保全活動を実施しています。

北海道日高町の「富士通北海道システムズの森（日高町）」では、2011年6月25日に社員とその家族、約170名が参加して下草刈を行いました。2009年の植林、2010年の下草刈も経験した参加者からは「森の成長に喜びを感じるとともに、森を育てるには長い時間が必要であることを改めて実感しました」という声が寄せられました。さらに、帯広市にある「富士通北海道システムズの森（帯広市）」では、7月23日、総勢60名が第1回目となる下草刈を実施。あわせて北海道十勝総合振興局様より森林保全の重要性に関するレクチャーをして

いただき、生物多様性について理解を深めました。

また、三重県大台町の「富士通中部システムズの森」においては、7月2日に社員とその家族117名が参加し植樹地の経過観察会を行いました。今年で5年目を迎える今回の活動では、通常の下草刈りを中心としたイベントに加え、大台町の宮川森林組合様とカーボン・オフセット・クレジットの売買契約を締結。自社の排出するCO₂のオフセットはもちろん、地域のエコイベントや公共施設の運営に関わるCO₂のオフセット等へ効果的に活用していきます。

今後も富士通グループは「富士通グループの森」が社員や家族を対象とした自然環境活動の場・環境教育の場となるよう、森林保全の推進に努めてまいります。



「富士通北海道システムズの森(帯広市)」での下草刈指導と実作業

■お知らせ

「2011 富士通グループ
社会・環境報告書」発行

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/communication/report/2011/>



富士通グループは、先進的な環境への取り組みが評価され、環境大臣より「エコ・ファースト企業」として認定されました。

Let's **SUPER COOLBIZ**

富士通グループはチャレンジ25キャンペーンに参加し、スーパークールビズを実施しています。

FUJITSU JOURNAL 富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社
マーケティング本部 eマーケティング部
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 (汐留シティセンター)
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>

※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。

©富士通株式会社 2011 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
Copyright ©2011 by FUJITSU LIMITED